

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E133C001		幼児と健康(Infants and Health)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択必修	1	3	教育学部 令和3年度 以降入学生用			氏名 永田誠・玉江和義・小山拓志 E-mail m-nagata@oita-u.ac.jp, k-tamae@oita-u.ac.jp, ktakushi@oita-u.ac.jp 内線 7559,											
授業の概要	本授業では、健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う」保育内容である領域「健康」の指導の基盤となる知識、技能を身につける。具体的には、幼児の心身の発達、基本的な生活習慣、安全な生活、運動発達等において、幼児期の特徴や意義を理解し、それがどのように指導方法に関連しているかを考察する。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 健康の定義と幼児期の健康に関する課題を理解する。																	
目標2 幼児期の基本的な生活習慣の形成とその意義を説明できる。																	
目標3 幼児の安全な生活と病気の予防について理解する。																	
目標4 幼児期の運動発達の特徴と多様な動きを獲得することの意義を理解している。																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 保育内容・領域「健康」の基本的理解(担当:永田誠・玉江和義・小山拓志)																	
2 健康の定義と幼児期の健康に関する課題-健康に関する課題と気になる幼児の姿から(担当:玉江和義)																	
3 幼児期の基本的な生活習慣の形成-起床・入眠、手洗い・うがい、食事・食育、排泄(担当:玉江和義)																	
4 幼児期の怪我や事故の特徴-園内の遊具・用具および園外活動時のリスクと対応(担当:小山拓志)																	
5 幼児の安全への意識や態度を育む安全教育-幼児期における防災・減災意識の向上と避難訓練の在り方(担当:小山拓志)																	
6 幼児期の運動発達の特徴-幼児期運動指針と「多様な動き」(担当:永田誠)																	
7 遊びとしての運動とその援助-子どもにとっての「遊び」としての運動と生活の関わり(担当:永田誠)																	
8 保育内容・領域「健康」の指導に向けて(担当:永田誠・玉江和義・小山拓志)																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
ラーニング	A:知識の定着・確認	・講義内容についての授業課題レポートを課し、知識の定着・確認を図る。					工夫 その 他の										
	B:意見の表現・交換	・講義内容に関する受講者間での意見交換の機会を設ける。															
	C:応用志向																
	D:知識の活用・創造																
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修	対応する箇所の教科書の内容の精読(8h)															
	事後学修	課題レポート等を用いた講義内容の振り返りによる知識の定着(16h)															
教科書	必要な資料については、授業内で配布する。																
参考書	<ul style="list-style-type: none"> 文部科学省・厚生労働省・内閣府『平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本』チャイルド本社、2017年 文部科学省『幼稚園教育要領解説<平成30年3月>』フレーベル館、2018年 文部科学省『幼児期運動指針ガイドブック 毎日、楽しく体を動かすために』2013年 																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	講義内容に関するレポート	70%															
	授業・討論等への取り組み等	30%															
注意事項	本講義は、一部でグループワークや模擬保育の演習形式にて進めるため、受講生の積極的な授業参加を望む。授業・課題への取り組み状況などは、成績評価に厳密に反映する。																
備考	履修者の関心ならびに授業の進捗状況によって、講義内容・計画を変更することがある。																
リンク																	
	URL																